

東京工芸大学学友会が 発足から100周年

東京工芸大学（学長：吉野弘章、所在地：神奈川県厚木市、東京都中野区、以下本学）本学学友会が、2024年6月9日、1924年6月9日の発足から100周年を迎えました。学友会は、体育や文化などに関する学生たちの自発的な活動を目的とした組織で、本学の全学生が構成員の対象になります。学友会本部は、現在も活発に全活動団体の管理や運営を行っています。

本学学友会は、1924年発足時「校友会」という名称で発足されました。当初は野球部、庭球部、撮影部、写専ハーモニカバンド、文芸部、園芸部など11団体が所属しており、校友会総務部が全体をまとめていました。

現在は、50以上の団体が厚木キャンパスと中野キャンパスで活動しており、学友会本部が取りまとめています。野球部やテニス部などは現在も活動を続けており、写真部（当時の名称は撮影部）は、報道写真部、カラー写真部、写真部、FOTO.ismの4つの団体に拡大し時代に合わせ、それぞれ特徴を持った活動を行っています。

時代とともに、クラブ・サークルは変化し続けていますが、いつの時代も学生たちにとってとても大切な場所と時間になっています。

現在の学友会会長、青木友紀さんは「100年の歴史と誇りを胸に、学生の皆さんがさらに充実した学友会活動を展開できるよう全力でサポートしていきます。」と語ります。



左上から、総務部、撮影部、文芸部、映書部、中央左端から、園芸部、写専ハーモニカバンド、野球部、運動部、左下から庭球（テニス）部、蹴球（サッカー）部、籠球（バスケットボール）部